

Internet Week 2011 DNS Day

DNSを安定運用するために

法人顧客のDNSを運用する現場から

2011年11月30日

ソフトバンクテレコム株式会社

営業統括 営業開発本部 SE第3統括部 SE第1部

谷田 隆貴



所属：

ISPの中で

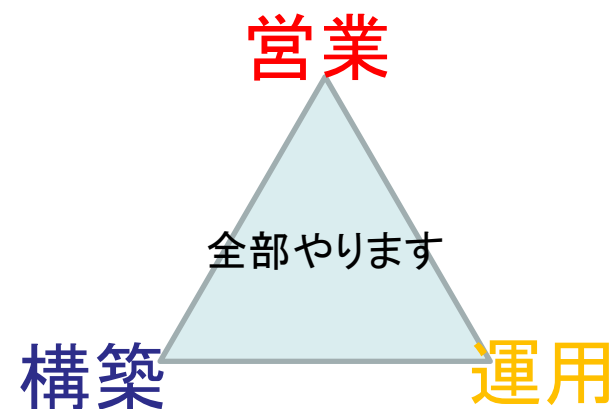
「法人向けにサーバの個別構築/運用を行う」部署

→「SIer」の人ではありません・・・

職名:

SE = Sales Engineer

≠ ~~System~~ Engineer



SoftBank

そんな「SE」が構築/運用するDNS:

✓ 権威DNSサーバー

- お客様所有Zoneの運用
- 広域サーバ負荷分散装置(GSLB)の運用

✓ キャッシュDNSサーバー

- WebプロキシサーバーやMailサーバーの参照先

みんな「お客様の」DNSサーバー達です



SoftBank

そんな「SE」の日常(運用):

✓ お客様の代理で運用しています

- 『お客様のご要望』ありき

- 手持ちの技術で解決できるのなら「何でもやります」

- でも、お客様は決して「専門家」ではないです

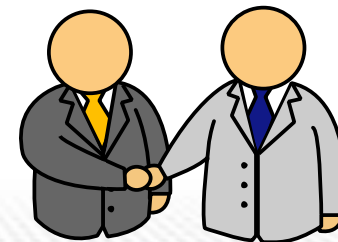
✓ お客様が適切な判断を下せるように・・・

- 専門的な情報をいかに判りやすく解説できるか

- タイムリーにトレンドを押さえておく必要も

- DNSSECの動向とか

- IPv6の話題なども



SoftBank

そんな「SE」が考えるDNSの安定運用：

✓ 当たり前だけど、止めない・止まらない

- 監視体制は世間一般並み(と、思います)
 - プロセス数やクエリへの応答状況など
- そもそも設計時に冗長化で可用性を高めてみたり
 - 「費用対効果」問われます ← お客様のお財布
 - システム全体から見るとDNSは脇役と見なされがち
 - DNS無しでは何も使えなくなるのに…
- メンテナンスで止める時もお客様との調整は必須

外から止められたりしたら洒落にもなりません：

✓ソフトウェア脆弱性対応

- **情報収集を頑張る**

- **いろいろな情報源を確認**

- **基本的に広く公開されている情報源を地道に**

- **お客様も情報収集を実施されています**

- **我々よりも先に情報入手されている場合も・・・**

- **ひと昔前に比べて要求されるスピード感が高まっている
お客様だけでは内容を理解して判断する事は難しい**



安定運用の、さらにその先：

✓ 有事対応(BCPとか)

- 輪番停電時インターネット環境が停止したお客様も
 - DNSサーバーをデータセンターに移設など

✓ 有事対応のシナリオ

プライマリ・セカンダリ間のZone情報の同期をZone Transferで実装していて、万が一プライマリだけが災害で長期停止してしまい、セカンダリが持っているZone情報のTTLが切れてしまうと…

• 結構、妄想力が試されます

- 「想定外」はいただけません…

✓ でも、限度がある ← 「費用対効果」



最後に:

インターネットと法人顧客の狭間を埋めるべく日々奮闘しています

